

地鎮祭並びに起工式祭文

木の香もなお新しいこれの神床に、目標めどとしてお鎮まり下さい
ます親神天理王命の御前に天理教 分教会長
慎んで申し上げます。

親神様の広大無辺な親心のお蔭でこれの天理教 分教
会は立教 年 月 日

神殿及び附属建物建築のお許
しを戴き、早速その普請にかかりましたが、かくの如く見事に落
成し、去る 月 日晴れやかにしか而もおごそ厳かに鎮座祭翌 日

は奉告祭をつとめさせて頂くことが出来ました。ところが残りま
した古い教職舎 平方米の老朽化がはげしく而も間取りも

悪く、これを修理し改築するよりも寧ろ取毀ち新築する方がい
いと衆議一決し上級会長様方の心よい賛同を戴きましたので、

茲こゝに木造亜鉛メッキ鋼板葺こうばんぶき式階建教職舎、その床面積壹階
平方米、式階 平方米を引続き 建設の施工

のもと心嬉しく新たに工事にかからせて頂きたいと存じます。

既に取毀ち部分の解体も終わり改めて空地の整備も済ませて
頂きましたので、只今から地鎮祭と共に起工式を執り行わせて
頂きます。

お道の普請はたすけふしぎふしんであり、形のふしんに先行す
る心のふしんを促進するようお教え下されておりますが、この思
召をしっかりと心に体し一段とにをいがけおたすけに心を注ぎ
地域社会に神名を流し陽気ぐらしの輪が大きく拡がって参りま
すよう一手一つにつとめさせて頂きますが、どうか親神様には怪
我過ちなく前回同様美わしく完成致しますようお導きの程を
一同と共に慎んでお願い申し上げます。